

各 位

平成19年 7月 25日

会 社 名 任天堂株式会社

代表者名 取締役社長 岩田 聡

(コード番号：7974 東証一部・大証一部)

問合せ先 専務取締役経営統括本部長 森 仁洋

(TEL. 075 - 662 - 9600)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年4月26日の決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。

記

1. 平成20年3月期 連結業績予想の修正

(1) 中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	460,000	85,000	85,000	50,000	390.92
今回修正予想(B)	640,000	160,000	180,000	105,000	820.95
増減額(B-A)	180,000	75,000	95,000	55,000	-
増減率(%)	39.1	88.2	111.8	110.0	-
前期実績(平成18年9月中間期)	298,817	67,111	94,676	54,345	424.86

(2) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,140,000	270,000	290,000	175,000	1,368.22
今回修正予想(B)	1,400,000	370,000	410,000	245,000	1,915.56
増減額(B-A)	260,000	100,000	120,000	70,000	-
増減率(%)	22.8	37.0	41.4	40.0	-
前期実績(平成19年3月期)	966,534	226,024	288,839	174,290	1,362.61

2. 修正の理由

携帯型ゲーム機「ニンテンドーDS」及び据置型ゲーム機「Wii」の売上が全世界で好調に推移していることから販売予想を見直しました。また、最近の為替の動向を勘案し、前提レートを1USDドル115円から118円へ、1ユーロ150円から155円へ変更した結果、中間期及び通期の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益がそれぞれ前回発表予想を上回る見通しとなりました。

なお、同様の理由で個別業績の予想も見直しましたが、投資情報の重要性としては大きくないため記載を省略しています。

※ 将来に関する記述等についての注意事項

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。現実の結果(実際の業績及び配当予想額を含みますが、これに限られません。)は様々な要因の変化により、これら見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願い致します。

なお、「1株当たり予想当期純利益」の算出に使用した発行済株式数は、現在予想される期中平均株式数です。

以 上